

中部経済産業局の情報施策

経済産業省中部経済産業局

地域経済部情報政策課

- ◆ 2010年を目標に推進する「IT新改革戦略」政策パッケージ、骨太の方針2007（成長力加速プログラム）に基づき、ITをツールとして捉え、中部地域の強みを活かした情報政策の議論の下で中部地域の中小企業のIT化の促進、IT産業の競争力強化、個人情報保護、情報セキュリティ対策等に向けた取組を強化する。

国際競争をリードする IT産業・技術の創出

ITによる中小企業の 生産性向上

地域の強み

<IT産業育成>

- 中部情報ビジネス研究会
（（産業クラスター）旧DCB研究会）
- クラスター拠点事業
- 農商工連携事業
- 情報産業（ベンダー）育成

・SI、SOの登録認定

<組込みソフトウェア産業強化>

- 車載組込みシステムフォーラム
（産業クラスター研究会）
- 中小企業産学連携製造中核人材育成事業
- 若者と中小企業ネットワーク構築事業
- アジア人材資金構想
- 展示会・カンファレンス

<中小企業のIT経営>

- 中部IT経営応援隊事業
（農商工連携事業含む）

・中小企業IT経営革新支援事業

IT企業向け

ユーザー向け

暮らしと社会のIT化の推進

- 情報セキュリティの推進
- 個人情報の保護

I T 経営応援隊とは

I T 経営応援隊

(中小企業の経営改革をITの活用で応援する委員会)
2004年(H16年)に経済産業省により発足

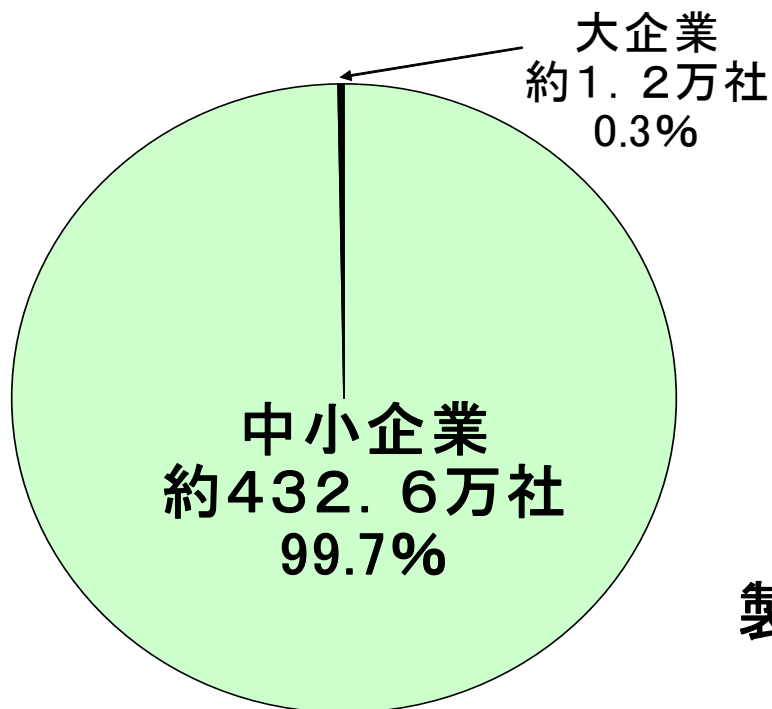
目的＝中小企業の戦略的情報化を促進

中小企業の経営改革と
そのツールとしてのITの活用を加速度的に
促進させ、
我が国の産業競争力強化を図る

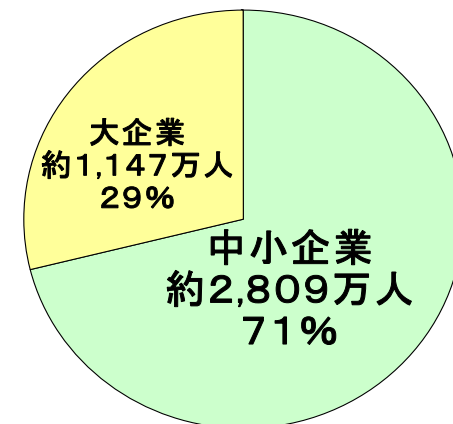
1. 日本の中小企業

中小企業は、我が国434万企業のうち99.7%を占める。
従業員数・付加価値額(製造業)においてもそれぞれ7割以上、5割以上を占める。

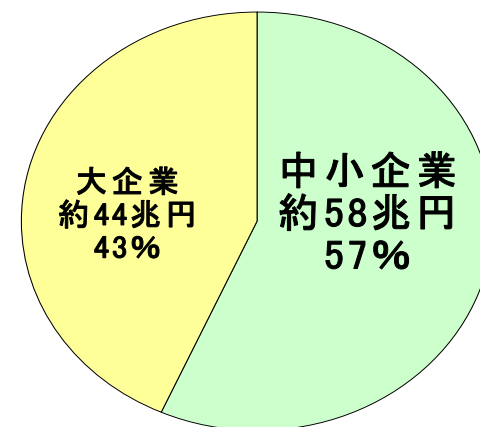
企業数(433.8万社)



従業員数 (3,955万人)



製造業付加価値額 (102兆円)



中小企業の定義／製造業:資本金3億円以下又は従業員数300人以下
卸売業:資本金1億円以下又は従業員数100人以下
小売業:資本金5千万円以下又は従業員数50人以下
サービス業:資本金5千万円以下又は従業員数100人以下

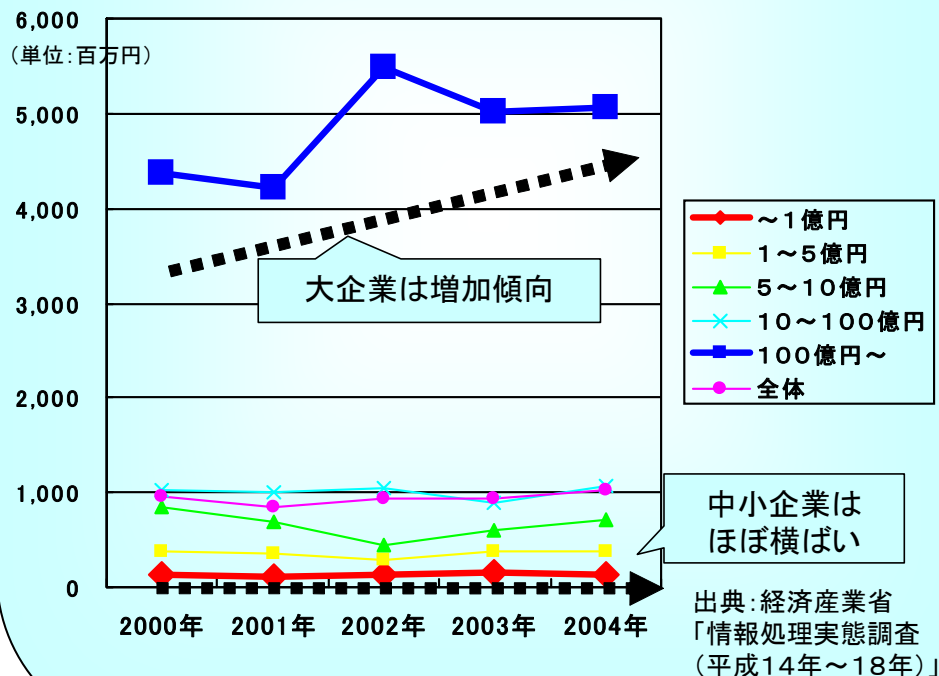
経済産業省 2004「工業統計表」

総務省 2004「事業所・企業統計調査」再編加工

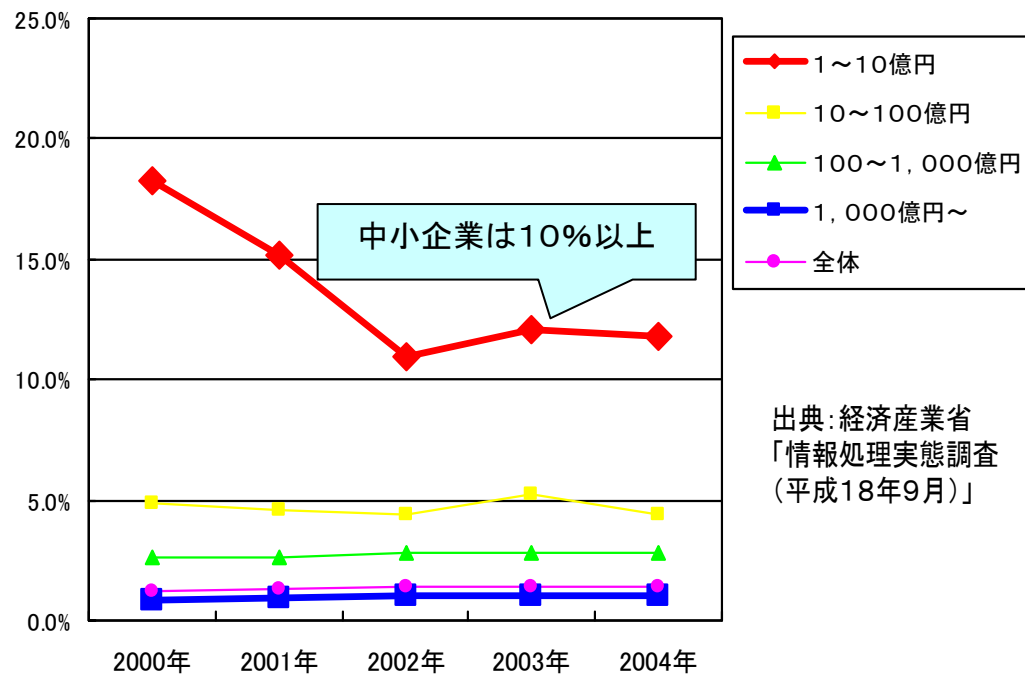
2. 中小企業のIT投資の現状

- 大企業では一社当たりのIT投資額が増加傾向にあるのに対し、中小企業では横ばい
- 大企業では「売上高に占めるIT投資」の割合は概ね5%以下であるのに対し、中小企業では10%を越えており、中小企業にとってIT投資は大きな負担

<資本金別「1社当たりの」IT投資額の推移>



<資本金別 売上に占めるIT投資額の割合>



3. 小規模企業のIT化の現状

■ 小規模企業のIT経営デバインド

- ・ 中小企業の中でも、サーバの導入（月10～15万円程度）を考えられる水準の企業と、とても無理と考える企業との間で、IT格差はますます拡大。
- ・ 特に、従業員数20人以下の企業に絞ると、販売管理費用等との見合いから、IT企業もターゲットとせず。中小企業内部でもIT経営デバインドはますます拡大。

● 既存のソフトウェアおよび利用ソフト

約372万社 平成18年中 中小企業実態基本調査

Seq.	IT活用内容	大規模(50～数百人:1.8%)	中堅(21～50人:3.2%)	中規模(6～20人:10.9%)	小規模(5人以下+個人:84.2%)
1	電子メール	○		○(無料Webメール)	
2	ホームページ	○	△(50%)	△(10～20%)	×
3	グループウェア	○		△(10～20%)	×
4	オフィス系	○		△(10～20%)	
5	給与計算	○		×	
6	財務会計(税務)	○		△(50%)	×
7	販売管理	○		△(50%)	×
8	仕入在庫管理	○		×	×
9	EDI(受発注)	○(※個別システム)	○(※Web EDI)	×	×
10	CRM・SFA	○	△(30%)	×	×
11	ERP	△(10～20%)	×	×	×

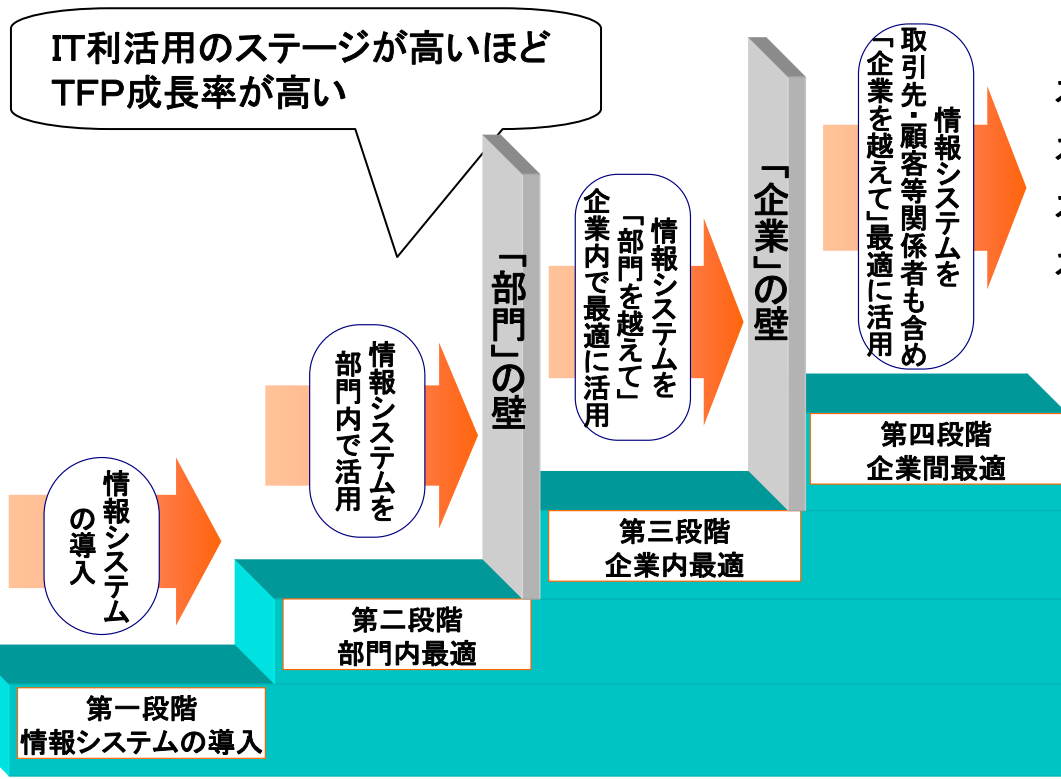
調査資料:富士キメラ総研2007パッケージソリューション・マーケティング便覧他

※上記導入状況は、調査資料とヒアリング調査等のデータを基に類推

4. 日本企業と海外とのIT投資の比較

- IT利用ステージが高い企業ほど生産性が高い
- 国内企業の多くはITステージは部門内最適にとどまる

⇔ **米国は企業内最適**

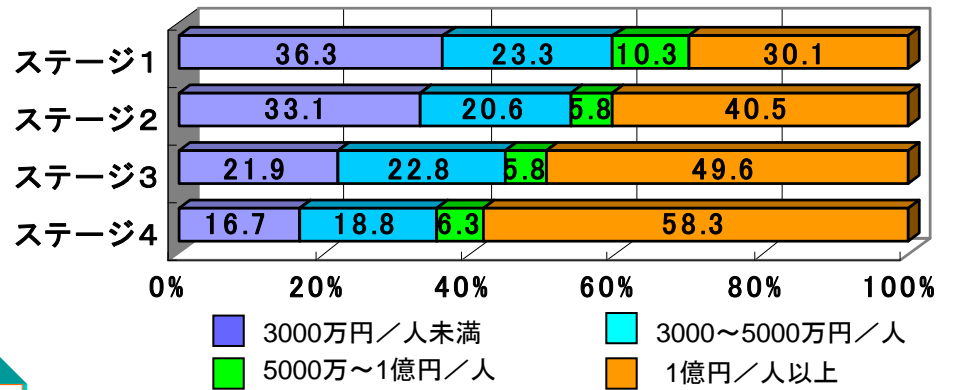


シェア

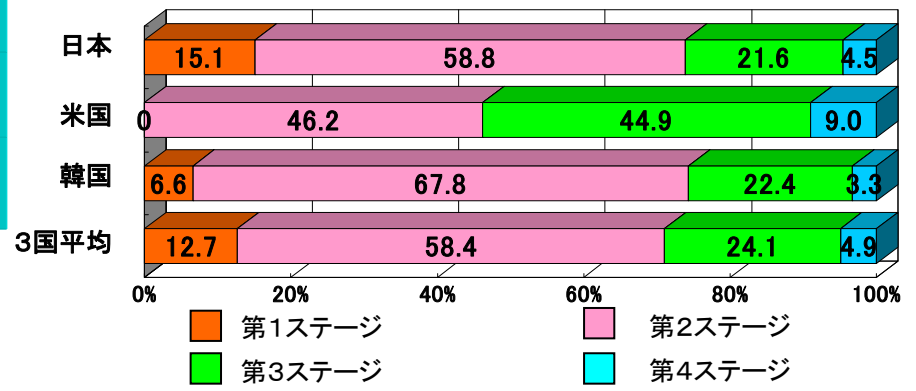
15.1% 58.8% 21.6% 4.5%

TFP:全要素生産性

ITステージと労働生産性の関係(日本)



日・米・韓のITステージの現状



(出所) 経済産業省「『IT経営力指標』を用いた企業のIT利活用に関する現状調査」(平成19年3月)

6. IT経営応援隊の実施体制

経済産業省

本省
情報処理振興課

委託

提案公募

経済産業局(9地域)

情報政策課

※東北:情報・製造産業課、中国:地域
経済課 電子情報産業担当参事官室、
四国:情報政策室

委託

提案公募

本体事業

実施者:民間団体(IPA、日商、ITCA)
実施期間:4月1日契約(~3月31日)

全国レベルでの事業を実施

- ◎研修事業
- ◎中小企業IT経営力大賞
- ◎成功事例の情報提供
- ◎IT経営の普及に関する事業

地域連携支援事業

実施者:民間団体等
実施期間:4~5月契約(~3月31日)

地域特性に応じた事業を実施

- ①IT経営普及セミナー
- ②専門家(ITC)による個別指導
- ③地域表彰
- ④地域プロジェクト 等

※上記は代表事例であり、地域毎に実施する内容は異なる

平成19年度中部IT経営応援隊事業

中部IT経営応援隊実施体制

(財)ソフトピアジャパン

- (株)富山県総合情報センター
- (株)石川県IT総合人材育成センター
- (株)名古屋ソフトウェアセンター
- (株)三重ソフトウェアセンター
- (社)中部経営情報化協会

IT経営の重要性「気付き」のための支援

効果的なITの利活用支援

IT経営ネットワーク構築事業

- ①中部IT経営支援ネットワーク会議
- ②若手専門家育成事業
- ③モデル研修会
- ④個別指導
- ⑤IT経営コンサルティングマニュアル作成

IT経営実践企業エリア拡大事業

- ①信用金庫との連携モデル事業
- ②IT経営conference2007inNAGOYAアフターフォロー事業
- ③セミナー、事例発表会
- ④成熟度診断
- ⑤個別指導
- ⑥IT経営普及促進に関する事業

実施事業

IT経営キャラバン隊 連携事業

事例発掘・表彰事業

- ①事例発掘調査
- ②一日IT経営応援隊事業
- ③表彰事業

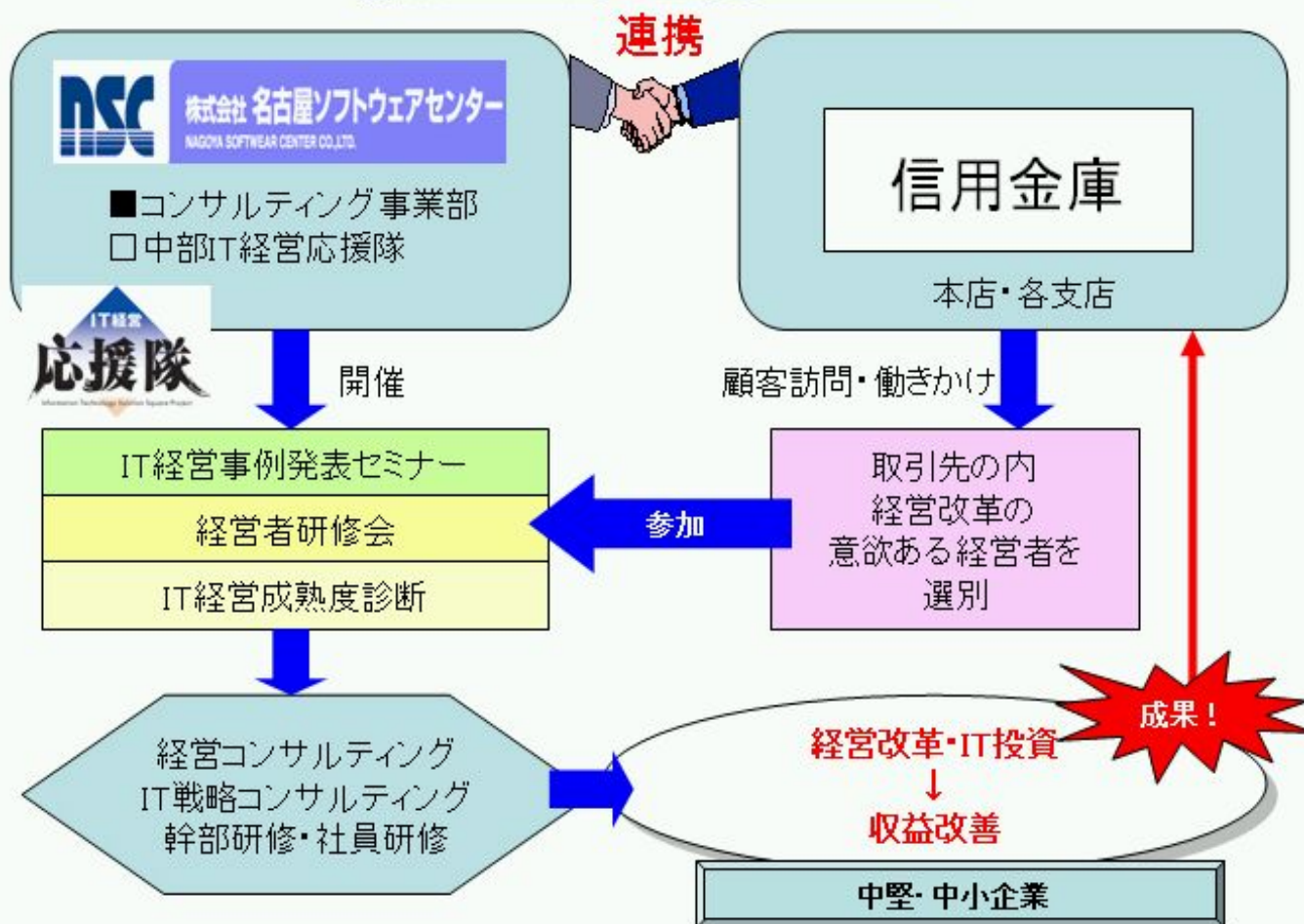
IT経営実践企業エリア拡大事業

- ①信用金庫との連携モデル事業
- ②セミナー、事例発表会
- ③IT経営成熟度診断
- ④一日IT経営応援隊

①信用金庫との連携モデル事業

「信用金庫連携モデル」は、IT経営応援隊実行機関が信用金庫と連携し、地域の中堅・中小企業のIT経営の推進を支援するものです。具体的には次の図に示すように、信用金庫のユーザー企業のうち、特に意識の高い、経営改善意欲の高い経営者に信用金庫本店で開催される「経営者研修会」に参加していただき、この研修会を通して真の改革の意義や改革手法を学んだ後、経営改革の実行によって収益改善等の成果に結びつけ、成長していただくための一連の活動を支援する仕組みです。

信用金庫連携モデル



株式会社名古屋ソフトウェアセンターの実施例

- 1ヶ月間の毎週特定曜日の4日間
- 金融機関の会議室
- 中小企業の経営者、後継者または経営者に準ずる方
- ITコーディネータ・インストラクター

②セミナー、事例発表会

中小企業等のIT経営に対する「気づき」を促進し、IT経営実践につなげるために行うための事業です。できるだけ多くの参加者を集めることが有効ですので、情報サービス事業者、会計士・税理士・ITコーディネータ等専門家、金融機関、中小企業支援機関及び地方公共団体等との連携により、中部IT経営応援隊のホームページに掲載するなど、参加を呼びかけています。

株式会社三重ソフトウェア センターの実施例

1. 実施概要

日時：平成19年11月21日 14:00～16:30

場所：津商工会議所 1Fホール

来場者：41名

2. プログラム

①講演1 「“経営改善” Doからはじめる活動」

昭和電機株式会社 代表取締役社長 柏木 武久氏

同 営業推進室 担当グループ長 栗山 隆史氏

②講演2 「“IT導入” システム会社は役立たず・・・と心得よ！」

株式会社アドホック 代表取締役社長 藤井 則次氏

③IT経営教科書の紹介 「IT経営のススメ」

ITコーディネータ 井上 俊一氏



③IT経営成熟度診断

平成15年度ITSSPで開発された「IT成熟度診断ツール」を活用した「IT成熟度診断」を行う事業。ITコーディネータ等専門家が事業の企画立案に当たって、IT成熟度診断の計画だけではなく、診断後に予定される支援措置も提示し、事業実施後、申請企業等が専門家派遣事業等の施策を活用しながら、情報化投資への取り組みが行われるなど、実践に繋がるための指導・助言等フォローの具体的方法を明確にします。

株式会社石川県IT総合人材育成センターの実施例

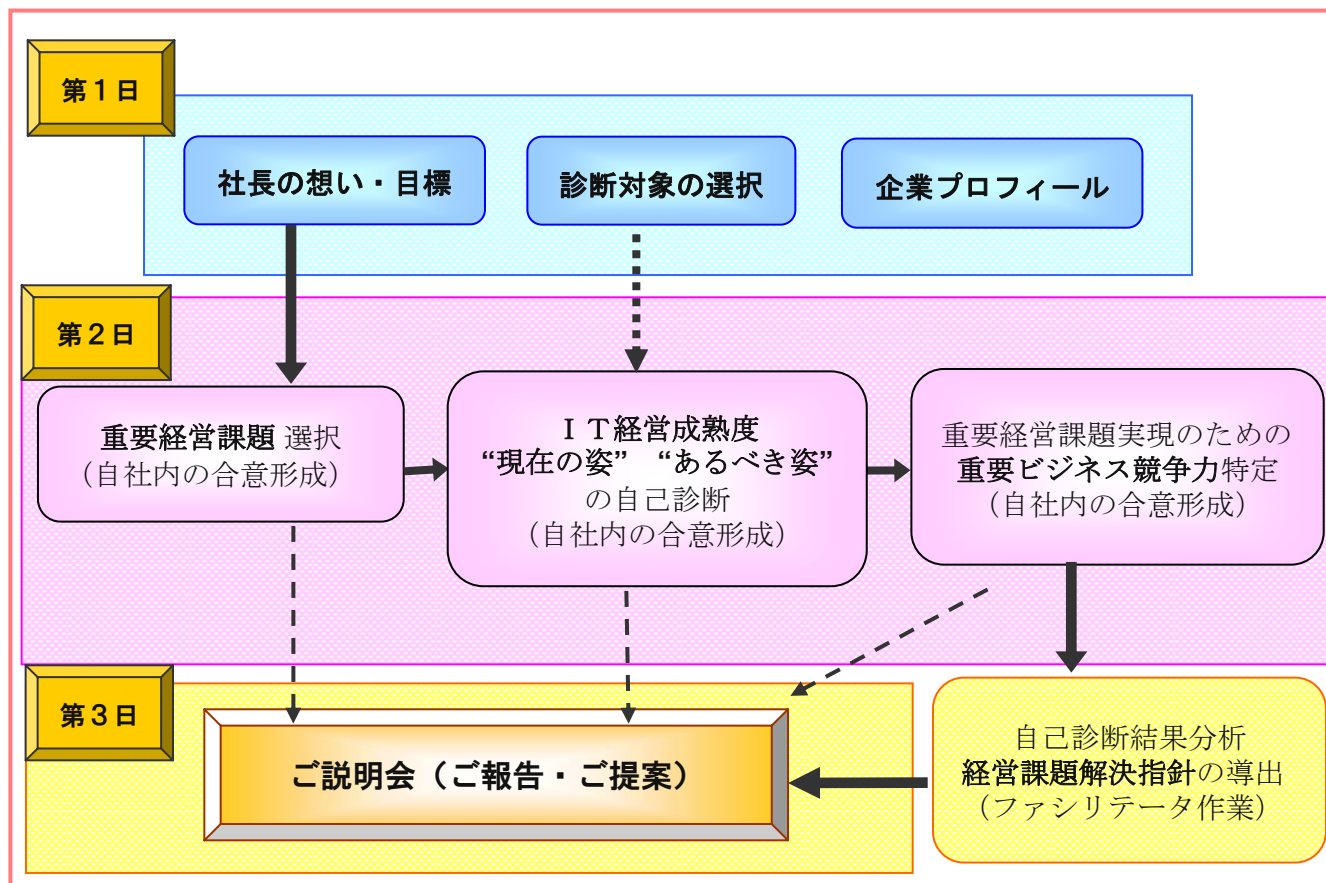
【方法】

- ・成熟度診断ツールを利用し、自社の経営幹部の方々に編成したチームが経営戦略の策定、情報化方針を確認。
- ・ITコーディネータがお手伝いし、重要経営課題の解決指針やIT化の方策を提案。

【メリット】

- ・重要経営課題の絞込みができる。
- ・IT経営による重要経営課題の「何から始めるのが良いのか」がわかる。
- ・自社のIT経営成熟度を自己評価できる。
- ・経営方針、経営戦略に対する社内の合意形成ができる。

IT経営成熟度診断の流れ



④一日IT経営応援隊(1)

中部地域における中小企業のIT経営を普及促進させるため実施した「平成19年度中部IT経営応援隊事業」の集大成として「一日IT経営応援隊」情報化サミット2008を開催し、中部IT経営応援隊の知名度向上を図るとともに、IT経営に関する講演や実践事例の発表、最新ITソリューションの紹介等により、ITの利活用に関する情報の提供・共有を図り、更なる中小企業のIT経営の促進を図る。

- (1)日時 平成20年2月15日(金) 10:00~17:00
- (2)会場 ミッドランドホール、会議室A・B
- (3)参加 中小企業経営者、IT責任者、支援機関関係者、ITコーディネータ等 454名
- (4)主催 中部経済産業局、中部IT経営応援隊
- (5)共催 (株)名古屋ソフトウェアセンター他の各県実施機関
- (6)後援 愛知県他



①オープニング

- 主催者挨拶 中部経済産業局長 大辻 義弘
財団法人ソフトピアジャパン 理事長 熊坂賢次

②基調講演

- テーマ：「持続的な成長を実現する経営戦略とIT戦略」
- 講師：アクセンチュア株式会社
代表取締役社長 兼 通信・ハイテク本部総括本部長 程 近智 氏

③鼎(てい)談(だん)

- テーマ：「中小企業のIT経営戦略」～中小企業が成長し生き残るために何が必要か～
- 鼎談者：東成エレクトロビーム株式会社 代表取締役社長 上野 保 氏
武蔵大学経済学部 教授 松島 桂樹 氏
経済産業省 商務情報政策局 情報化人材室 室長 夏目 健夫 氏



④一日IT経営応援隊(2)

中部IT経営応援隊事業の一環として、中小企業のIT経営実践の模範と認められる企業を選定し、表彰する『中部IT経営力大賞』を創設。

受賞各社のIT経営実践の取り組みを先例として、ITの利活用による経営革新に当地域の中小企業が積極的に取り組まれることが期待される。

大賞(1社)

ラブリーQueen株式会社

優秀賞(7社)

株式会社アンスコ、池田工業株式会社、中京陸運株式会社、株式会社デリカサイト、鍋屋バイテック株式会社、株式会社レスター、谷田合金株式会社

奨励賞(12社)

株式会社アクト、株式会社蒲郡製作所、ナカシャクリエイテブ株式会社、名古屋フィルター販売株式会社、大塚衣料株式会社、株式会社長太屋、株式会社宮崎本店、コンチネンタル株式会社、第一交易株式会社、能登印刷株式会社、馬場化学工業株式会社、株式会社本螺子製作所

IT活用・利活用の成功事例を20社程度発掘する



中部IT経営力大賞表彰式



奨励賞・プレゼンター 兼
審査結果総評

中部IT経営力大賞審査委員会
委員長

金沢大学経済学部

准教授 飯島 泰裕 氏

④一日IT経営応援隊(3)

IT経営実践事例発表

株式会社八幡ねじ 代表取締役社長 鈴木 建吾 氏

[平成14年グッドデザイン賞 日本商工会議所会頭賞受賞]

- ・製造も行う、締結部品(ボルト、ナット)の専門商社。DIY業界シェア70%。
- ・製造から物流まで、品質管理にこだわり抜いたトータルシステムを構築。
- ・人とITとメカトロによる三位一体の改善を推進中。



株式会社レスター 代表取締役社長 清水 康次 氏

[平成18年度IT経営百選 最優秀賞受賞]

- ・インターネット専門の縫製工場。オーダーメイドTシャツ、トレーナー、ポロシャツ等の衣料品製造を100%ネット受注 (BtoBとBtoCの割合は半々)。
- ・アパレルの下請けはしない。ネット受注のみで、リアル店舗での販売はしない。



エイベックス株式会社 代表取締役社長 加藤 明彦 氏

[2006元気なモノ作り中小企業]

- ・自動車関連部品を製造。A/Tスプールバルブは世界シェア8%。
- ・高精度小物切削・研削加工のプロフェッショナル集団。
- ・IT活用による少人数体制での効率的な生産・管理体制を構築。

ITソリューション大会

ITベンダー等による最新のソリューション展示
及びプレゼンテーションを開催

■ITソリューション展示(10社)

■ITソリューションプレゼンテーション(5社)

中小企業IT経営力大賞の実施

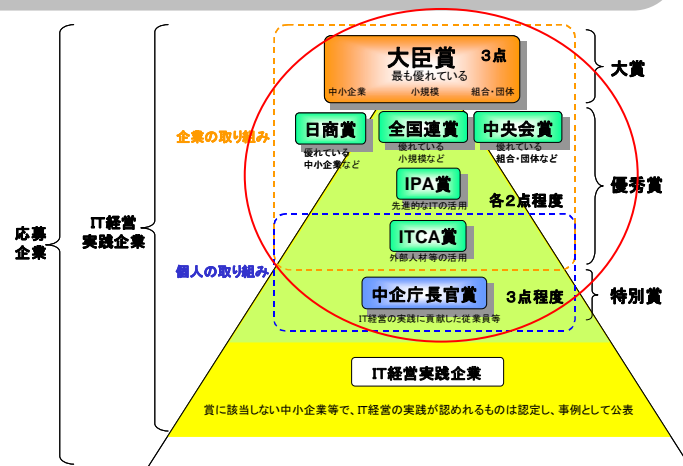
- 中小企業がITを積極的に利用・活用し、生産性の向上、競争力の強化を図ることを目的として、優れたIT経営を実現しており、他の模範となる中小企業等を表彰する「中小企業IT経営力大賞」を本年度新たに創設。
- 平成19年度は、応募のあった429件の中から、大賞（経済産業大臣賞）、優秀賞（各共催機関長賞）、審査委員会奨励賞及び特別賞（中小企業庁長官賞）として22件を表彰。
- また、上記賞の他にIT経営の実践内容が企業内最適化を図っている等の一定水準以上と認められる企業、団体を「IT経営実践認定企業（組織）」として151件を選出。



表彰式の様子①
 （甘利大臣と大賞（経済産業大臣賞）受賞者）



表彰式の様子②（主催・共催代表と受賞者）



中小企業IT経営力大賞のイメージ

大賞企業の概要

- 東洋ボデー(トラック車体製造): 受注から生産・納品までを一元管理するシステムにより、受注生産体制を強化することで、1社専属型だったのが自動車メーカー6社からの受注を実現し、自立化を進展。
- 八幡ねじ(ねじ卸業): 10万種類あるネジを1本単位で出荷できるシステムと、EDIの積極的な活用(ホームセンター取引では98%)により多品種少量出荷を可能とし、競争力強化を実現。
- ヤマサキ(化粧品製造販売): 受注—製造—販売が最適化されたシステムにより、顧客問い合わせ対応を1日あたり600件から1500件へ向上、1000件あたりの出荷時間を15時間から5時間に短縮するなど顧客満足度の向上を実現。

中小企業IT経営力大賞の実施(No. 2)

1. 大賞(経済産業大臣賞) 3件

○株式会社 東洋ボデー(東京都)

○株式会社 八幡ねじ(愛知県)

○株式会社 ヤマサキ(広島県)

2. 優秀賞(各共催機関長賞) 11件

(1)日本商工会議所会頭賞

○明豊ファシリティワークス株式会社(東京都)

○株式会社 ヤマリア(神奈川県)

○株式会社 堀内機械(大阪府)

(2)全国商工会連合会会長賞

○株式会社 アースダンボール(埼玉県)

○農業生産法人有限会社 新福青果(宮崎県)

(3)全国中小企業団体中央会会長賞

○日本ローカルネットワークシステム協同組合連合会(大阪府)

○日本ジャバラ工業株式会社(兵庫県)

(4)ITコーディネータ協会会長賞

○大津鉄工株式会社(愛知県)

○会宝産業株式会社(石川県)

(5)情報処理推進機構理事長賞

○株式会社ビッグ(北海道)

○株式会社 ホイッスル三好(東京都)

3. 審査委員会奨励賞 5件

○千代田漬物株式会社(千葉県)

○株式会社 カワキタエクスプレス(三重県)

○株式会社 ツルガ(大阪府)

○株式会社 山本製作所(愛媛県)

○久恒衣料株式会社(大分県)

4. 特別賞(中小企業庁長官賞) 3件

○山田 睦夫(日本ローカルネットワークシステム協同組合連合会)

○小田原 貴樹(株式会社 ヤマサキ)

○富岡 泉(久恒衣料株式会社)

IT利活用による経営革新への意識向上セミナー事業

- 中堅・中小企業向けセミナー
- ITベンダー向けセミナー

IT経営の実践事業

- ITC等専門家派遣
- ITベンダー・サポート機関向けスキルアップ研修
- ITCスキルアップ研修

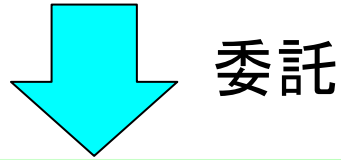
IT経営の成功事例の収集、普及促進のための事業

- 1日IT経営応援隊
- 中部IT経営力大賞
- IT関連イベントへの出展
- 中部地域のニーズに対応したITベンダー等の在り方についての調査

平成20年度中部IT経営応援隊事業(2)

事業体系

中部経済産業局



(株)名古屋ソフトウェアセンター

(特非)ITC中部

(株)富山県総合情報センター

(株)石川県IT総合人材育成センター

(財)ソフトピアジャパン

(財)三重県産業支援センター

(財)人工知能研究振興財団

金融機関連携モデル

名古屋ソフトウェア
センター
ITC中部

- ・セミナー・相談会
- ・経営者研修会
- ・成熟度診断

連携
中小公庫
地銀・信金等

中小企業

参加企業の
働きかけ

フォローアップ

経営改革→収益改善